

新旧化学消防車外觀比較



↑上段が購入が議決された化学消防車と同型の車両
↓下段が運用開始から20年が経過している車両



●化学消防自動車（Ⅱ型）
購入契約の締結：可決
化学消防自動車購入の仮契約（※）を締結したことに伴い、議会の議決を求めるもの。

吉田議員：消防組織法では、市町村は消防を果たす責任を有すると規定されている。この責務を果たすためには、物の充実が必要。幸いにして取手市は、消防職員の努力のたまものにより、火災による死亡件数、家屋延焼数は県内でも非常に少ない状況。もう一つの重要な要素でもある装備について、化学消防車両の更新により、消防職員の意気も大いに上がっていると伺っている。消防団の装備について

契約相手	有限会社 鈴機（石岡市）
契約金額	5,996万8,090円
契約方法	指名競争入札
特殊装備	・消火泡圧縮吐出装置 ・耐熱服 ・加圧排煙器 ・熱画像直視装置

でも計画的に更新を図っていくことを期待し、賛成。
※市は、議会の議決が必要な契約を結ぶ場合、議決を得たときに本契約が成立する旨の文言を入れた契約書により仮契約を締結します。

市長提出人事案件 同意・諮問

●固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意：同意

固定資産評価審査委員会（※）委員に齊藤氏を引き続き選任するため、議会の同意を求めるもの。
齊藤茂雄氏（71歳） 〓小文

●固定資産評価審査委員会：固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査を行う行政委員会。

●人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（5件）：すべて適任と答申

人権擁護委員（※）に左記の5名を引き続き推薦するため、議会の意見を求めるもの。

- 村上紀代子氏（73歳） 〓浜田
- 小沼登美子氏（68歳） 〓下菅場
- 香取序子氏（66歳） 〓台宿
- 須賀笙子氏（66歳） 〓白山
- 小澤悦夫氏（63歳） 〓光風台

●人権擁護委員：人権思想の普及活動・人権擁護運動を行う非常勤職。市長が議会の意見を聞いた上で推薦を行い、法務大臣が委嘱する。

意見書・決議

意見書とは、議会がその意思を、国会や関係行政庁に対する意見としてまとめた文書のことです。決議は、議会の意思・態度を明記した決議文を議会内部で決定することです。

●食品のトレーサビリティの法制化を求める意見書：可決

食の安全のため、全ての食品の流通経路を明らかにすべく、トレーサビリティ（※）の法制化を求めるもの。

吉田議員ほか8名（総務文教常任委員会に関連する陳情を趣旨採択したことに伴い提出・4P参照）

※トレーサビリティ（トレサビリティ）：追跡可能性。物品が生産されてから消費または廃棄されるまでの経路がたどれること。

●「J-IPARC」放射線物質漏えい事故発生に抗議する決議：可決

5月に大強度陽子加速器施設「J-IPARC」（東海村）で発生した放射性物質漏えい事故と、その事故の関連自治体への報告が発生から1日半後であったことに抗議するもの。

〔提出者〕
齋藤議員ほか4名

〔討論〕
池田議員：1日半後の報告では、逃げる、逃げないの判断。また、家の中に退避

する、どこかに出かけるという選択の自由が奪われている状況。賛成。

平議員：チェルノブイリの何倍もの事故であると言われる中において、こんな安易な考え方で国が進めていいのか。現政権の姿勢に怒りをもって賛成。

●橋下 徹大阪市長の「慰安婦に関する発言」等に対する決議：可決

橋下氏が行った「第二次世界大戦当時は慰安婦制度が必要だった」等の一連の発言は女性の人権を踏みにじるものとして抗議し、撤回と謝罪を求めるもの。

〔提出者〕
加増議員ほか5名

〔討論〕
小嶋議員：戦時慰安婦について政府が調査した限りの文書では、軍関係による慰安婦の強制募集を直接示すような記述は見出せなかった。慰安婦問題を女性蔑視の問題にすり替えて広めようとしている。私たち今に生きる日本人のために闘ってくれた祖先の名誉と尊厳を著しく汚す決議文は許すことはできない。反対。

その後、委員会で委員長が、一身上の都合により委員を辞任しました。これに伴い、議長は佐藤隆治議員を委員に選任しました。

議会人事

議会運営委員会

6月21日付で小嶋吉浩委員長が、一身上の都合により委員を辞任しました。これに伴い、議長は佐藤隆治議員を委員に選任しました。

その後、委員会で委員長が、一身上の都合により委員を辞任しました。これに伴い、議長は佐藤隆治議員を委員に選任しました。